

第94回 東葛しぜん観察会

わくわく夕涼み・虫とコウモリ観察会

杉山 賢司 (松戸市)

日 時 : 2013年8月31日 (土) 16時30分~19時30分 天気 : 晴

場 所 : 江戸川河川敷 (松戸市)

参加者 : 20名 (うち子ども8名)、指導員21名

担当者 : 渋谷孝子、渋谷 孝、杉山賢司、三角紀子

当日、台風の接近で猛暑となりましたが、川辺の夕方は秋の空気を感じられました。場所は江戸川河川敷、川べりに樹木があり、原っぱが広がります。その一角が観察会会場です。観察会の目的は、昼から夜への自然の変化を、のんびりじっくり体で感じる、とりわけバッタやコオロギ、コウモリを楽しく観察しよう、という事でした。子どもたちは虫に興味があり、明るいうちから、クマコオロギ、ササキリ、エンマコオロギ、アブラゼミなどの採集で盛り上がりました。コオロギの顔をルーペで見て、「アゴの作りなどが思っていたよりずっと複雑でおもしろかった」ようです。

カルガモがねぐらに帰り、ツバメが補食のため飛び交った後、軽食タイムでは暗くなり、コウモリの声を検出器(バットディテクター)で聞きました。アブラコウモリの発する超音波の変化から捕食した瞬間が判るらしいのですが、なかなか困難でした。コウモリの特徴ある飛び方には興味をそられたようです。コウモリの実物大ぬいぐるみを使ったコウモリクイズを、子どもも大人も楽しみました。

アオマツムシ、ツクツクボウシ、アブラゼミ、エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、クマコオロギ、カンタン、ハヤシノウマオイ、カネタタキなどの鳴き声が聞けました。渋谷 孝さんは鳴く虫の専門家で、iPadを用いた鳴く虫クイズで、虫の鳴き方等を解説し、さらに、星空も案内しました。快晴の空に「思ったより星が見えて良かった」そうです。

昼間、ゴマダラチョウやショウジョウトンボがいた場所に、カンタンの鳴く姿が観察できました。クズの葉ごとに一匹ずつ居るくらい多数でびっくりしました。渋谷 孝さんの推定では、「あのあたりだけで数十~数百匹、鳴くオスだけでも數十四匹はいそう」でした。多くの人にじっくり観て頂きかったのですが、人の集まりとライトの光で、虫はすぐに退散してしまいました。「虫の鳴く姿を観られたのはとてもラッキーだった」そうです。「子どもは虫の声そのものにはあまり興味を示さず、虫が鳴いているところをじかに見たがる」ので、鳴く姿を確実に見せる事が子ども向けの課題になりました。

私は、この観察会で、生き物は場所(空間)を分け合うばかりではなく、時間も分け合って暮らしている事を学びました。夏休み最後の土曜日が開催日だったのが影響したのか、一般参加者数が少なかったのが残念でしたが、この時間帯に夕方から夜への移り変わりを観察するには良い時期だったようです。

「緊張感が少なく、自分が虫を見たいという誘惑に打ち勝てず、危機管理などがいい加減になってしまった」という反省がありますが、みなさん怪我や体調を悪くすることなく、観察会を終了することができました。



渋谷さんがタブレットで楽しく説明